

科目	目的・目標	内 容	単位 (時間)	方法	進度
地域で生活する人々の暮らしを知る実習	<p><目的> 地域で生活する人々とその暮らしを理解し、生活者としての対象の多種多様な生活と価値観を受容し看護につなげる力を養う。</p> <p><目標> I. 人のニーズは共通であり、人は様々な方法によって自らニーズを満たしている。その方法は、無限で多様であることを理解する。</p> <p>II. 人は人とつながりを持って生きている。その人間関係は、個人の健康と多様に関連していることを理解する。</p> <p>III. 個人と地域はダイナミックな関係にあり、個人の健康や暮らしと地域の特性は大きく関連していることを考察する。</p>	<p>1. 個人と家族の暮らしを知る実習</p> <p>1) 訪問看護に同行し、対象者その家族の生活環境を見て知る</p> <p>2) 対象と家族がどのように生活を営んでいるか観察と会話から情報を捉える(適切な飲食、排泄、移動動作、睡眠と休息、適切な衣類や温度調整、保清、危険からの回避、表現とコミュニケーション、達成感、気晴らし、学習など)</p> <p>3) 対象と家族を支える力(人、物、しくみ)について、看護職から情報を取り知る</p> <p>4) 対象と家族の願い(生活上の長期目標)を知る</p> <p>2. 特定集団:地域の企業で働く大人とかかわる実習</p> <p>1) 地域で働く大人とかかわり、その働く環境を見て知る</p> <p>2) 対象がどのように職場での生活を営んでいるか観察と会話から情報を捉える(適切な飲食、排泄、移動動作、睡眠と休息、適切な衣類や温度調整、保清、危険からの回避、表現とコミュニケーション、達成感、気晴らし、学習など)。</p> <p>3) 対象を支える力(人、物、しくみ)について、企業の方から情報を取り知る</p> <p>4) 対象の願い(職場で今後もどのようにやって行きたいか)を知る</p> <p>3. 住民交流の場:小集団および住民集団の互助を知る実習</p> <p>1) 住民交流の場に参加し、参加者と共に過ごし互助の様子を見て知る</p> <p>2) 参加者を支える力(人、物、しくみ)について、本人達から情報を取り知る</p> <p>3) 住民が交流の場に来ることや、近隣同士がつながる意義を探り捉える</p> <p>4. 町の様子を知る実習</p> <p>1) 近隣の町内を踏査し住民や地域の様子を観察する</p> <p>2) 地域の人々や町の特徴について、強み弱みを考える</p>	1 45	<p>【臨地】 《個人と家族の暮らしを知る実習》 場所:訪問看護ステーション ステーション10か所 期間:2日間 形態:1施設2~3名 ・訪問看護師に同行し、様々な家と暮らしを見学する。 《特定集団:地域の企業で働く大人とかかわる実習》 場所:地域の企業 5か所 期間:0.5日間 形態:1職種に2名 《特定集団:子どもの暮らしを知る実習》 場所:市内保育所及び 財団保育所 期間:1日間 形態:1施設に3~4名 《住民交流の場:小集団および住民集団の互助を知る実習》 場所:三春町集会所 8か所 期間:0.2日 形態:1集会所に5~6名 《町の様子を知る実習》 場所:近隣の町内 期間:0.3日 形態: ・8グループに分かれ地区踏査 【学内】 場所:ポラリス保健看護学院 期間:0.5日 形態:グループワーク 共有会</p>	1年次 前期